（様式７）

**グループリーダー業務チェックリスト**

グループリーダーをお受けいただきありがとうございます。

活動の際は、以下の点にご留意のうえ、グループメンバーがお互いに協力しながら１日の活動を行えるよう協力をよろしくお願いいたします。

**１　活動前の確認事項及び諸注意を共有する**

□　緊急時の連絡先・グループ内での連絡方法を確認する。

□　依頼者氏名、活動場所、活動内容を確認し、チーム内で共有化する。

□　活動に必要な道具及び飲料水等を用意し、車に積み込む。

**２　活動中の注意事項**

□　グループで行動するようメンバーに伝える。

□　活動中の休憩は、３０分～４０分毎に１０分～１５分程度、体力に応じて無理のないように設定する。天候が猛暑の場合は１５分活動毎に１５分の休憩を目安とする。

□　ケガや体調不良等が発生したら、直ちにボランティアセンターに連絡する。

□　天候が急変した場合、避難指示が出た場合などは、活動を中断し、ボランティアセンターに戻るか、安全な場所に避難する。

□　支援先の要望による活動内容の変更の際は、必ずボランティアセンターに事前連絡する。

□　近隣住民等からボランティアの要望があった場合は、その場で対応せず、まずはボランティアセンターに連絡いただくよう伝える。

□　活動終了時間は、遅くとも**○○時**とする。

□　活動を終了する時は、依頼者に今日の活動は終了することを伝え、今後もボランティア活動が必要かどうかを確認する。

□　活動を終了する時は、持ってきた資機材の数に過不足がないか確認する。

**３　活動中の感染対策**

□　屋外での活動時で身体的距離（少なくとも２ｍ以上）が確保できる場合、マスクは着用しないようにする。

□　屋外での活動時に身体的距離が確保できない場合は、マスクを着用し、１回の活動時間を短く（１０～１５分程度）とする。

　　□　屋内に入る際は、手指の消毒を十分に行う。また、屋内での活動時は、不必要にものに触らないようにし、マスクや手袋を着用のうえ、換気を行った上で活動する。

　　□　マスクを着けての活動は、マスクをしないときに比べて身体への負荷が著しく大きくなるため、無理のないよう作業を分担し、適宜休憩をとるようにする。

**４　活動後（ボランティアセンター帰着後）**

□　メンバーがそろっているか確認し、ケガや体調不良等がないか再度確認する。

□　必ず、手洗い、うがいを行う。

□　グループリーダーは、活動の報告を行い、資料（依頼票など）を全て返却する。

　　※活動内容だけでなく、依頼者の様子困りごと、近隣の状況等、気になる点があれば、わかる範囲で報告して下さい。

□　他のメンバーは、資機材を洗い、数量を確認して返却する。

○○○災害ボランティアセンター（緊急時・困った時はこちらの電話にご連絡ください。）

**電話番号　○○○-○○○○-○○○○**